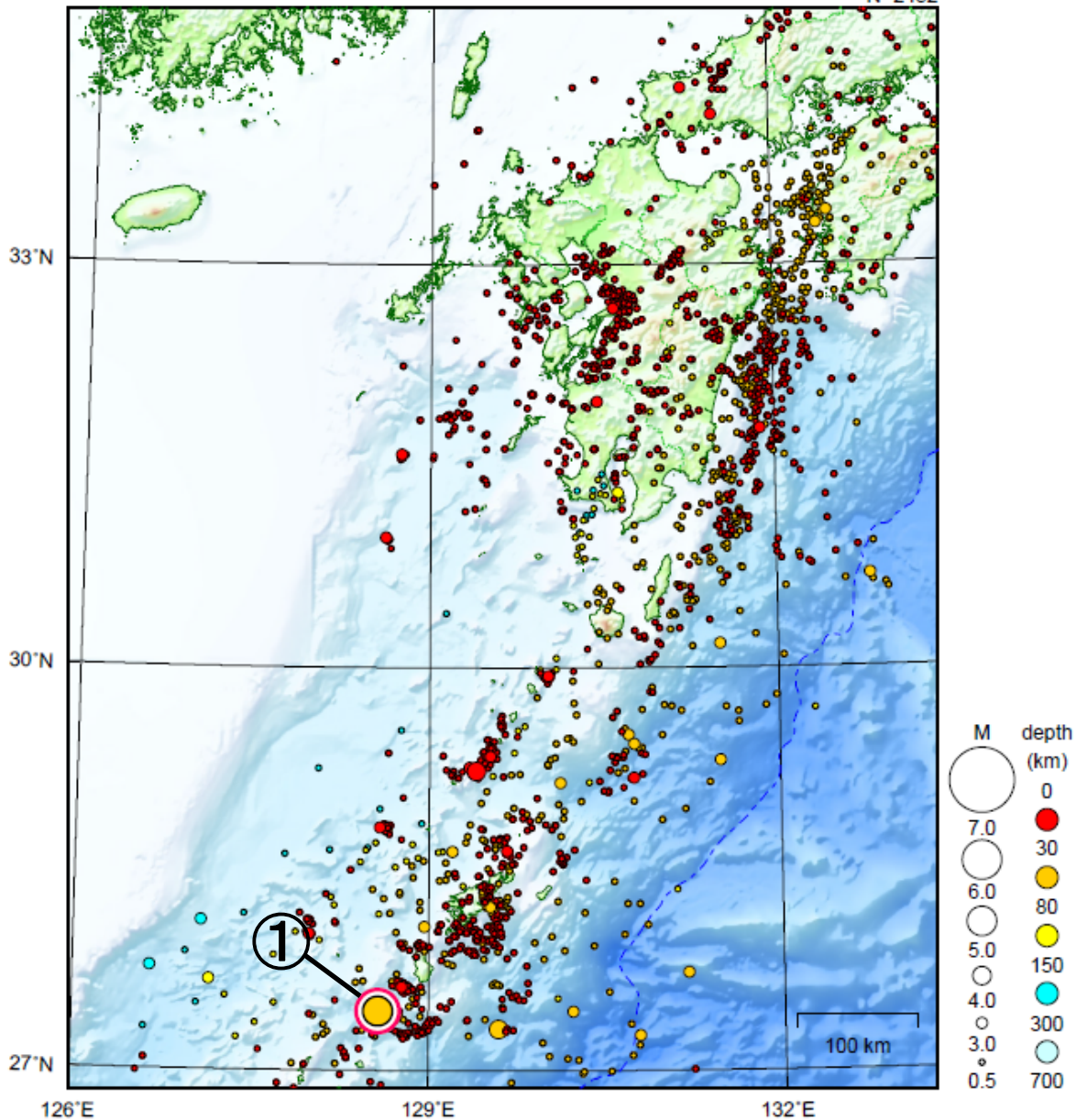


# 九州地方

2026/05/01 00:00 ~ 2026/05/31 24:00

N=2452



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 5月20日に沖縄本島近海で M5.9 の地震(最大震度5強)が発生した。

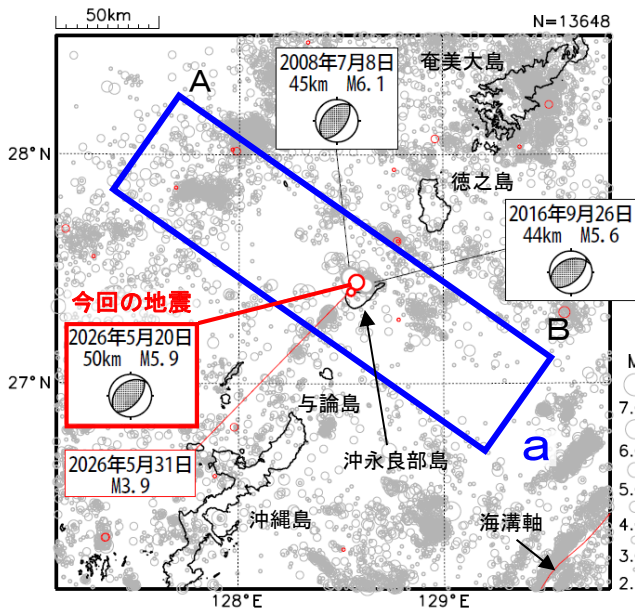
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 5月20日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震

震央分布図

(1994年10月1日～2026年5月31日  
深さ0～150km,  $M \geq 2.5$ )  
2026年5月の地震を赤色○で表示  
図中の発震機構はCMT解

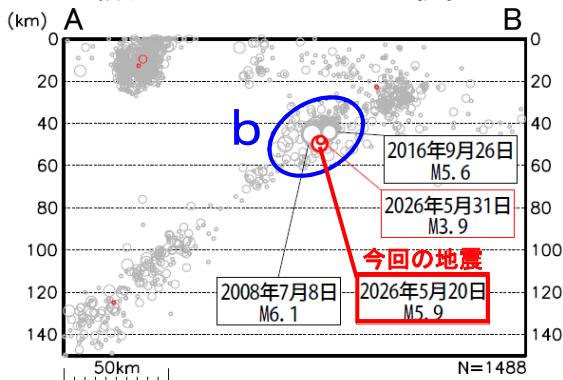


2026年5月20日11時46分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ50kmでM5.9の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、負傷者1人、体育館の天井ウレタンボードの崩落、石垣の一部崩落などの被害が生じた（人的被害は5月28日17時00分現在、総務省消防庁による、その他は5月21日現在、鹿児島県による）。また、ほぼ同じ場所で31日10時58分にM3.9の地震（深さ48km、最大震度3）が発生した。

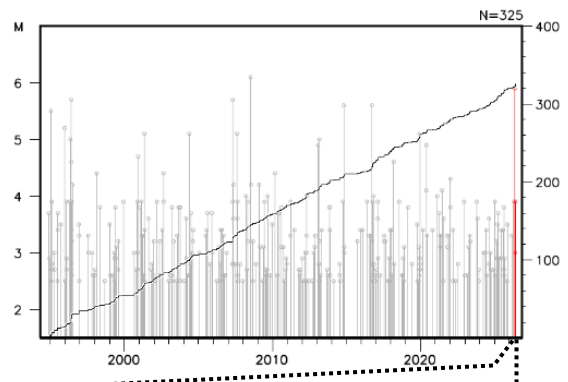
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2016年9月26日にM5.6の地震（最大震度5弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6程度の地震が時々発生しており、2008年7月8日の地震（M6.1、最大震度5弱）では、鹿児島県与論町のホテルで壁の落下、石膏ボードの破損など一部破損が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内の断面図（A－B投影）

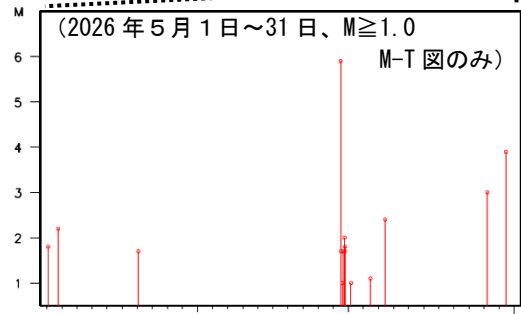
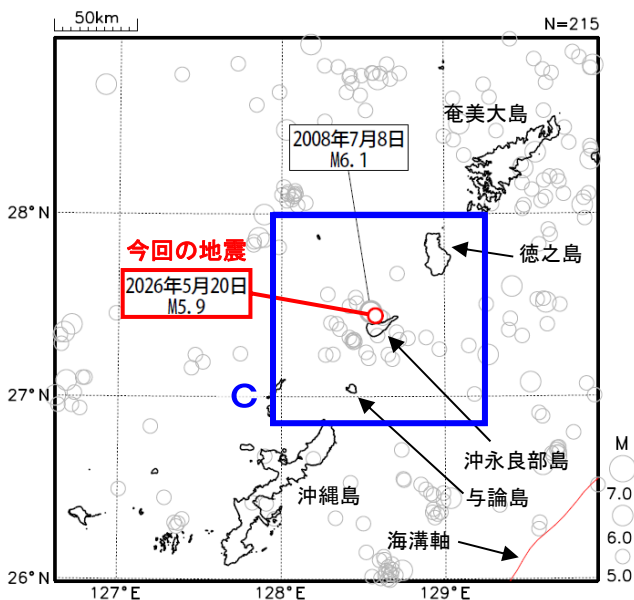


領域b内のM-T図及び回数積算図

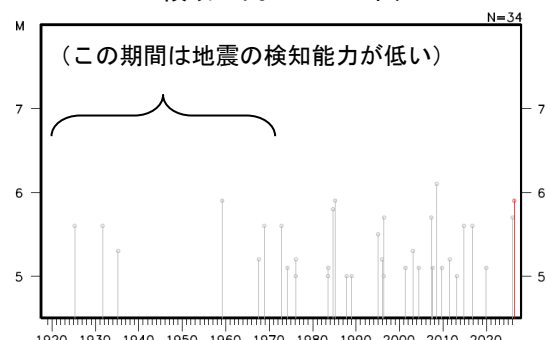


震央分布図

(1919年1月1日～2026年5月31日、  
深さ0～90km,  $M \geq 5.0$ )  
2026年5月の地震を赤色○で表示



領域c内のM-T図



気象庁作成